

九州北部 豪雨

平成29年
7月

—— 日田市災害記録誌 ——

大分県 日田市



発刊に寄せて

令和2年3月

日田市長 原田 啓介

平成29年7月5日から6日にかけて、福岡県・大分県に線状降水帯を形成し猛烈な雨を記録した「平成29年7月九州北部豪雨」では、各地で河川の氾濫や土砂災害が発生し、日田市では3名もの尊い命が奪われるなど、近年まれに見る大災害となりました。

改めまして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された市民の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、発災直後から自衛隊、警察、消防をはじめ多くの関係機関の方々に救援・救助をいただきますとともに、ボランティアの皆様には被災者に対するご支援を賜りました。さらに、国内外から物資の援助や支援金をいただきましたことに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

日田市では、平成24年7月九州北部豪雨や平成28年熊本地震、そして、平成29年7月九州北部豪雨と6年間のうちに3度も大きな災害が発生いたしました。

特に、平成24年7月豪雨で被災した地域が、わずか5年後にさらに甚大な被害を受けたことから、これまでの原形復旧にとどまらず、防災機能を高める「改良復旧」、さらには、これまでなかった機能の付加、生産基盤の向上につながる「創造的復興」にも取り組んでまいりました。

災害と向き合い、対応してきて思うことは、「決して災害には、抗うことは出来ない」ということです。自然の力の前では人間は無力です。市民の皆様には、「自分の命は自分で守る」「命を守る行動を」という災害・防災への意識を常日頃から持っていただきたいと思います。

さて、昨年、東北、関東甲信越を中心に広域かつ甚大な被害をもたらした令和元年台風第19号など、近年全国各地で大きな災害が頻繁に発生するようになってまいりました。これまで経験したことのないような災害が、いつでも起こりうるということを覚悟しなければなりません。「経験したことのない時代が始まったのだ」と思います。平成29年7月九州北部豪雨からの真の「復興」のため、引き続き力を注ぎ、新しい日田をつくっていかねばなりません。

本誌は、災害の記録とともに、その教訓も掲載をいたしました。防災関係機関や自主防災組織などの皆様に活用され、減災に役立てていただければ幸甚に存じます。

結びに、本誌の作成にあたり、資料の提供や取材に応じていただきました皆様方に深く感謝を申し上げ、発刊のあいさつとさせていただきます。